GRANSHIP Contents

GRANSHIP Special Stage
03 グランシップ静岡能「青淵」

Interview
06 スペシャルインタビュー・グランシップ静岡能「青淵」
駿府の〝ご当地ソング〟として
大切にしていただきたいです。山階彌右衛門
息つく暇がないくらい、
すべてが見どころの作品です。関根祥丸

GRANSHIP Special Stage
08 グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライヴ
小沼ようすけ × 中川英二郎
with Special Guests: 小野リサ、沖仁、林正樹

Column
10 岩下尚史の
伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.47 すめん、ひためん、ぺるそーな。

Pick up
11 心弾むクラシックで、新年の幕開けを
静岡ガスグループPresents
グランシップ&静響
ニューイヤーコンサート vol.25

Information
12 第30期グランシップサポーター募集!

GRANSHIP Event Calendar
13 2026年10月～12月
グランシップイベントカレンダー

Exhibition
16 本物と出会い 感性を深める 静岡の秋
10月～12月のイベント情報

Information
20 グランシップ
こどもたちのための文化芸術プロジェクト

Outreach
21 グランシップ 子どもアート体験！学校プログラム
グランシップ誰もがWonderfulアート
関連アウトリーチ
「線がおどる、色はひびく、心ひらく」

Information
22 アーツカウンシルしずおかの
無料相談窓口ってどんなところ?

Information & Communication
23

©大野仁志

表紙の絵

福井利佐 「 舞 」 2026年制作 切り絵

今号の題字は「舞う」「舞台」などのキーワードから「舞」にしました。グランシップでは「お能」の演目があるのが特徴的なところだと思うのですが、今回は「渋沢栄一」をテーマにした演目ということで新作能であること、そして「青」がテーマカラーになっているということで特徴的な扇子をメインに「舞」という文字を構成しました。また12月に行われるジャズライブの要素としてギター、トロンボーンも入れつつ秋の要素を組み込んだデザインになっています。モダンを意識して強めのオレンジ色をバックに選びました。

福井利佐（ふくい りさ）
1975年静岡県出身。多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業。観る者を圧倒させるような生命力のある線の世界を描き出す切り絵アーティスト。直木賞作家の桐野夏生氏、木内昇氏の小説への挿画や装丁、NHK太宰治短編小説集「グッド・バイ」の映像制作、NHK「猫のしっぽカエルの手」オープニングタイトル制作などがある。お能の宝生流家元主催の「和の会」メインビジュアル担当（2008～2018）。福音館書店月刊「かがくのとも」から絵本「むしたちのおとのせかい」（2019）「からまつ～ふじさんにもりをつくるき～」（2022）を刊行。その他、国内外の個展や合同展の参加、ワークショップなど多方面で活躍中。